

身体障害者(視覚障害)実態調査

このシートは、報告書本書から障害別、カテゴリごとに課題を抽出したものです。それぞれの課題ごとに、かつ書きで対象となる資源等を記載しています(区、民間、地域、国)。

◎課題抽出シート

カテゴリー名	社会生活
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅内での不安の多くは家事の問題である。(区、民間) ・非常時の不安があげられており、非常時の対策を考慮する必要がある。(区、地域) ・外出時に不便や不安、恐怖を感じる、また時間がかかり活動上の制限になっているとの意見があり、障害者理解に対する啓発活動と社会参加促進のための支援が必要である。(区、地域)
カテゴリー名	ヘルパー
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の外出を直接的に支える担い手として、ガイドヘルパーのニーズが高い。利用時間については個々人のニーズを十分に満たすため、柔軟な対応が求められている。(区、民間) ・ホームヘルパーについては生活に不可欠な人もおり、利用者のニーズに対する柔軟な対応が求められている。(区、民間)
カテゴリー名	福祉サービス
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの制度運用について、自己決定や支援の柔軟性を求める意見が挙げられた。(区) ・障害者自立支援法施行に伴う経済的負担の軽減、日常生活用具の利用要件の緩和や支給種目の充実が求められている。(区、国) ・タクシー券について、不足を訴える意見と判別しにくいとの声があった。(区) ・介護保険制度に関してサービスの受給や利用上の不満が聞かれた。(国) ・余暇を楽しみたいという意見が多く挙げられており、余暇支援の改善や交流の場が求められている。(区、民間、地域)
カテゴリー名	行政
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口の対応について対応が悪い、説明不足、分かりにくいなどの意見があり、相談しやすい雰囲気作りやより柔軟な対応が求められている。(区) ・職員の理解不足の指摘や、障害の特性に合わせた説明をして欲しいなどの声があった。相談業務を行う職員の資質や相談技術、知識などの専門性の向上などにより、区民が安心して相談できる体制作りが求められる。(区) ・区役所全体として、各部署で連携を図り、障害特性に合わせた配慮や声かけの実施が望まれている。(区)
カテゴリー名	相談・情報
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談できる人がいなかったり、相談しても対応できないこともあり、あらゆることをワンストップで相談でき、かつ専門的な視点から適切なアドバイスが受けられる体制が望まれている。(区、民間) ・視覚からの情報がない視覚障害者にとって情報のバリアがあるため、個々のニーズに対応し、どのような方法でこういった情報がほしいかを考えることが必要である。(区、地域)
カテゴリー名	バリアフリー
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車対策や、トイレやエレベーターなど公共施設のバリアフリー化、交通バリアフリーの促進が求められている。(区、民間、地域) ・社会の障害者への理解を感じる意見がある一方で、偏見・差別に苦痛を感じている声もあり、より一層心理的バリアを排除するため、健常者の障害者に対する理解が求められる。(区、地域)
カテゴリー名	就労
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場がない、限られてしまうという意見が大半を占めた。取得した資格を活かせずにいる人や、理解が少ないために傷ついたという声もあった。障害者の就労支援を強化し、自立した生活が送れるようなサポートと、障害者理解の啓発活動が求められている。(区、民間)
カテゴリー名	将来
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・体調に関しての不安があり、医療と福祉の連携による支援が必要である。(区、民間) ・様々なニーズに対応して、安心して生活でき、継続的に社会参加ができる環境づくりが必要である。(区、民間、地域)

◎課題抽出シート

カテゴリー名	情報
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が来ても判断できるほど十分な情報ではなく、情報の質と量の両面の改善が求められている。また、行政の責任での情報の提供を求める声も挙げられた。(区) ・聴覚障害の人は高齢になったときの不安があり、将来に向けての情報を求める意見が出された。(区) ・個人情報保護の関係で会員同士の情報交換が難しいとの声がある。コミュニケーションが難しいため情報を得にくいとの意見があり、団体やサークルなどのようなネットワークが重要といえる。(民間、地域) ・講習会など、情報を得ることが出来る場面では、手話通訳の存在が重要になってくる。(区)
カテゴリー名	社会生活
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を送る上で、行政、文京区聴覚障害者協会、病院などの施設や団体との連携が重要である。サークルがコミュニケーションの場という声もあり、交流の場を提供することが求められる。(区、民間) ・社会的な理解不足から、生活のしづらさを訴える声が聞かれた。障害者理解の促進が求められている。(区、地域) ・相談機関に関しては、区の相談体制の充実、交流の場の設置などを通して、たくさんの人と話や相談ができる環境をつくる必要がある。(区) ・病院、民間企業、その他公共の場で生活上不便を感じる事が多く、バリアフリーやユニバーサルデザインの推進が求められている。(区、民間)
カテゴリー名	緊急時対応
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルや防災セットなどの防災対策の整備が必要である。また、防災訓練に参加しやすい体制も求められている。(区) ・災害時に情報を得られるか不安の声もあり、リアルタイムでの情報提供が求められている。(区) ・「緊急FAX」は緊急時に重要な連絡手段であるが、周知されていなかったり緊急時には送れないなどの問題点も挙げられた。(区) ・体調の急変時など、万一のことが起きたときのために、主に緊急通報手段の確保を求める声が上げられた。(区)
カテゴリー名	行政
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口対応に時間がかかること、電話のかわりにFAXでの対応となるため時間がかかることに対する不便の声が聞かれた。(区) ・緊急時や休日に手話通訳が必要になったとき困る、手話通訳者を指定したいなどの声もあり、円滑に手話通訳を呼べるよう柔軟な対応が望まれる。(区) ・日常生活用具についての意見も多く寄せられたが、「お知らせランプ」(来客、FAXの受付などを知らせるランプ)を求める声大きいことが特徴的であった。(区)
カテゴリー名	仕事
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職場でのコミュニケーションで苦勞しているという声が挙げられた。筆談でのやりとりは時間がかかり、仕事が円滑にできないという声や、仕事を教えてくれる人に負担をかけてしまっているようだとの声がある。(区、民間) ・障害により就職活動を行うにも大変苦勞している現状がある。就労の機会の充実や就職しやすい制度が求められている。(区)
カテゴリー名	親の介護
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・親の介護を心配する声があり、介護に関する情報の提供が必要である。(区) ・介護者は相談相手がいると心にゆとりが持てるので、介護の負担感が軽減されるように、交流の場の提供、相談体制の整備等が求められている。(区、民間)
カテゴリー名	給付関連
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・支出面では、障害者自立支援法の施行により自己負担が増えたという意見が多くある。経済的負担感の軽減が求められる。(区、国) ・交通機関の負担軽減に関する声もあり、障害者の人たちに外出しやすい環境を整備することが求められている。(区)

身体障害者(肢体不自由)実態調査

◎課題抽出

カテゴリー名	バリアフリーの推進
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・電車の利用に際しては、駅施設やエレベーターなどのハード面での整備を求める声が多い。(区、民間) ・歩道上のバリアが多く、歩道の整備を望む声が非常に多い。(区) ・歩道上の放置自転車に対する駐輪場の整備と、自転車利用に対するマナーの向上が求められている。(区、地域) ・外出の際のトイレの問題は切実であり、障害者用トイレの設置や運用上の問題が指摘されている。(区、民間) ・住宅改修等へのサポートは、それぞれのニーズに合わせた柔軟な対応が求められる。(区) ・障害者に対する差別や偏見といった心理的バリアも大きな壁の一つであり、障害者の社会参加の促進と一層の啓発活動が必要である。(区、地域) ・障害者用駐車場の設置、飲食店や商店についての情報提供も求められる。(区、民間)
カテゴリー名	行政
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・就労しているため平日区役所に来庁できない方に対する配慮と手続きの簡素化が求められる。(区) ・部署間の連携の強化と、区民の立場に立った窓口対応が望まれる。(区)
カテゴリー名	情報・相談
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・情報について、どこで手に入ればよいか分からない、情報提供が不十分、内容が難しいとの意見があり、多角的な手段を用いて個人のニーズに合わせた適切な情報提供が求められている。(区) ・区に相談しても解決できない、申請主義だから区役所等に行かなくては何もしてもらえない等の意見がある。相談業務を行う職員の資質や相談技術、知識などの専門性の向上などにより、区民が気軽に安心して相談できる体制作りが求められる。(区) ・外出にハンディキャップのある障害者の相談しやすい体制を作る必要がある。(区) ・窓口がわかりづらいという意見があり、総合相談窓口の設置など、ワンストップで相談できる体制作りが求められる。(区、民間) ・ソーシャルワーカーを設置して欲しいという要望が多く寄せられた。サービスに対しても制度に対しても、より専門性を持った人に相談にのってほしいという声強い。(区、民間)
カテゴリー名	介護の必要性・福祉サービス・ヘルパー
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を抱え行き詰っている家族に対し、適切に介入し、支援できるソーシャルワーカーの設置と相談体制づくりが必要である。(区、民間) ・サービスの質・量両面での充実が求められるとともに、個々人のニーズに合わせて必要十分なサービスの利用ができるような制度が求められる。(区、民間) ・タクシー券やガソリン代の補助、リフト付福祉タクシーについての要望が聞かれた。(区、民間) ・住居の確保について、民間のアパートに入居を断られたり、バリアフリーになっておらず入居できないなどの問題があった。(区、民間) ・介護者のレスパイトや介護者の急用時などに短期で入所できる施設や、将来介護者がいなくなった時でも住み慣れた土地で暮らし続けるための入所施設やグループホームの新設などを求める声が聞かれた。(区、民間) ・通所系サービスについて、送迎での負担軽減、入浴サービスの必要性が挙げられた。(区、民間) ・余暇支援や交流の場を望む声も多く、また、緊急時や災害時の支援、医療やリハビリテーションに関する意見も挙がっている。(区、民間、地域) ・ヘルパーの必要性については、直接の身体介護を求める声と、家事支援、外出支援を求める声がある。内容や時間についてより柔軟に利用ができるような制度運用、ヘルパーの人員の確保やヘルパーへの支援が求められている。(区、民間)

カテゴリー名	経済的負担
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・収入面では、年金と手当をあわせても生活に即した額となっていない現状がある。給付額の増加と個々のニーズに応じた柔軟な給付を行うことが求められている。(区) ・支出面では、障害者自立支援法による負担感が大きくなっている人がいることが分かった。利用者負担の更なる軽減策や活用できる制度についての情報を広めることが望まれる。(区、国)
カテゴリー名	就労
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・就労では、<u>就業上の困難、職場の理解、就職希望、就労支援</u>という点で意見が寄せられた。特に周囲の理解や、就労機会の増加に対する意見が多い。(区、民間) ・個人のニーズに合わせた働き方ができるよう、多様な就業形態、通勤における配慮、公共の交通機関や企業における多目的トイレの設置など、障害者が働きやすい環境を総合的な視点から整えていくことが求められる。(区、民間) ・文京区障害者就労支援センターを中心とした障害者の就労支援体制の充実が望まれる。(区)
カテゴリー名	将来
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・孤独の不安については、何かが起こったときに1人で大丈夫だろうかという不安と、両親が亡くなった後が不安であるという意見が多かった。困ったときに頼れる相手がいないことが課題であり、行政からのアプローチと地域の見守り体制づくりが求められる。また、財産管理についての不安もあり、「財産保全管理サービス」「成年後見制度」の情報を普及させることが必要である。(区、民間、地域) ・10年後の希望として、結婚したいという意見が多かった。将来に希望が持てないとの声もあり、不安を解消するために情報の普及やコミュニティへの参加の促進が必要である。(区、地域)

身体障害者(内部障害)実態調査

資料第1号

◎課題抽出

カテゴリー名	就労
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者というだけで雇用に結びつかないという差別に悩まされている声や求人情報や就労支援の充実を望む声があがった。(区、民間) ・ 障害者枠の採用であっても一般採用であっても、周囲の障害に対する理解不足をあげる声が多かった。(区、民間、地域)
カテゴリー名	体調
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲や機会があっても、体調により社会参加が制限されるという意見があつた。(民間、地域) ・ 臓器移植を希望する声やリハビリの重要性をあげる声が多かった。(区、民間) ・ 医療費の負担や体調の悪化で自分と同じように悩まないように、予防の支援を求める声があつた。(区) ・ 体調が悪くなったときにどのような福祉サービスや公的サポートが行われるか不安に思う人も多く、区と医療機関がお互いの情報を共有し、連携して、よりよいサービス提供をすることが求められている。(区、民間)
カテゴリー名	社会
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害によって疲れやすいことも多いため、買い物などのちょっとした外出でも移動や荷物運びが大変という意見が多かった。バリアフリーの充実やヘルパーなど外出時の支援の充実が求められる。(区、民間) ・ 健常者の障害に対する理解不足から内部障害者の社会参加が阻害されることのないよう、ペースメーカーを含め内部障害に対する理解の促進が必要である。(区、地域)
カテゴリー名	行政
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区から情報をもっと欲しいという意見や、今の区報やホームページをより分かりやすくするように改善を求める声、メールでの情報提供を望む声などがあがった。(区) ・ 区役所は土日が休みになるため相談に行けないなどの意見があり、気軽に相談できる場を必要としている人も多いため、時間外窓口や気軽に相談できる場の提供が求められる。(区) ・ 福祉サービスについては、体調の面が考慮されていないことをあげる意見が多くあがった。(区)
カテゴリー名	
課題	
カテゴリー名	
課題	

◎課題抽出

カテゴリー名	病状安定
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者が最も切望していることは病状の安定であり、不安定要素の大半を占めるものが自分の病状に関わることであった。(区、民間) ・ある程度自分の病気に対する認識があり服薬の必要性も理解しているが、その根底には、もっとよくなりたい、薬を飲まないで生活できるようになりたいという希望がある。(区、民間)
カテゴリー名	社会参加の促進
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・病状を安定させ、精神障害者自身の自己実現につなげるためにも、さまざまな形態の人とつながることができる場が求められている。(区、民間、地域) ・施設に関しては、定期的に通うこと、また職員や仲間同士でのつながりの中で病状安定につながっている。(区、民間) ・住居に関しては、近隣住民の理解が得にくいため住みごごちの悪さを感じるという意見があった。(区、地域) ・親の高齢化に伴う問題が多くなってきている。(区、民間)
カテゴリー名	経済面での不安
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の症状により仕事ができず、経済面での不安が強い。(区) ・障害者自立支援法に関しては、制度の複雑さと経済的負担をあげる人が多い。(区、国) ・生活保護受給者では、使い道や受給のときに感じたことが多くあげられた。(区、国) ・成年後見制度については、制度の理解が不十分である。(区、民間)
カテゴリー名	相談機関の充実
課題	<p>(相談相手) 主に血縁関係、公共機関の職員など、対象が限られている。保健師の異動や担当職員による情報の差などへの不満がみられる。(区、民間)</p> <p>(相談内容) 自身の体調のことはもちろん、今後のことについての不安がみられる。(区、民間)</p> <p>(相談時間) 夜間は不安になることが多いため、その時間帯の相談体制をとという要望がある。(区、民間)</p> <p>(情報内容) 利用できる福祉サービスや施設の情報などが求められている。(区)</p> <p>(その他) 第三者的な相談機関が必要である。(民間)</p>
カテゴリー名	希望する生活
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家事支援。ホームヘルプサービスの重要性。(区、民間) ・自立支援、就労支援については、様々なステージの希望がある。しかし就労に関しては、就職したいという希望と就職に対する不安があげられた。(区、民間) ・ハローワークへの付き添いなど、就労支援のサービスが必要。(区) ・一方で働きたくないという意見もあり、個々人のニーズに合わせた支援が必要である。(区、民間) ・企業、社会の精神障害者に対する正しい理解を求める声が多い。(区、民間、地域)
カテゴリー名	区への要望
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所の利用頻度は少ない。(区) ・パソコン等の講習費用の値下げや内容の見直しを求める声が多かった。(区) ・作業所やグループホームの増設。(区、民間) ・区民のニーズに即した区報。(区)

◎課題抽出

カテゴリー名	情報の提供
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障害をもつ親同士のやり取り以外に、情報を得る機会や場所がないという声が多く聞かれた。(区) ・子に障害があるとわかった場合に、まずどこにいけばいいかの情報が十分でない。(区) ・情報を得やすい環境作りや、多様な手段で様々な情報を積極的に提供していくことが求められている。(区)
カテゴリー名	相談の充実
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談できる人(専門家)や場所が少なく、不安を抱えている人が多いので、保護者の気持ちに沿った、適切な対応が必要となる。(区、民間) ・専門知識の習得等で職員の資質を向上し、信頼感・安心感をもって相談できる体制を整備することが求められている。(区) ・就学後への不安を解消するために、適切な情報を提供(先輩保護者からのアドバイスを含む)していく必要がある。(区、民間) ・各相談・情報機関をつなぐ、総合相談窓口が求められている。(区、民間) ・親同士の交流や情報交換の場や、日常生活での不安・悩み等を吐き出させるような場を設けることが望まれる。(区、民間)
カテゴリー名	連携の強化と各機関への要望
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、機関の間で情報を共有し、連携を強化すると共に、個々の職員の知識・理解を深め、適切な対応をすることで、利用者の抱える問題の解決や不安を軽減することが必要である。(区、民間) ・就学後は福祉センターで受けていたような専門的な療育訓練を受ける機会がない。(区、民間) ・特別支援教育が学校間で違いがありすぎ、通える範囲の学校に特別支援学級が無い。(区) ・保健サービスセンターでの乳児検診の際に、確実に障害を発見していくことが望まれる。(区) ・療育機関の不足や受け入れ後の利用回数の制限があり、利用したくても利用できない状況にある。(区、民間)
カテゴリー名	ソーシャルワーク機能の充実
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達への支援を継続していくために、必要なサービスの情報提供や家族支援も行えるよう、関係機関との連携の要となるソーシャルワーク機能が求められる。(区、民間) ・各分野の専門職や、ソーシャルワーカーの配置が求められている。(区、民間)
カテゴリー名	サービスの充実
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容が利用者のニーズと合致せず、必要なサービスが提供されていない。(区) ・送迎や一時預かりが必要な時にサービスをうけられない。(区) ・金銭的な支援が十分でなく、民間のサービスをうけられない。(区) ・サービスの利用手続きの簡略化を図るとともに、ニーズにあったサービスを提供していくことが望まれる。(区)

◎課題抽出

カテゴリー名	情報の提供
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの情報が不足していたり、わかりづらいため、同じような障害児を持つ親から情報を得ている。(区) ・当事者の立場に立って、わかりやすい言葉を用いて積極的な情報提供を行っていく必要がある。(区)
カテゴリー名	相談の充実
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談する相手がないことや、相談相手に専門的知識はあるのか否かについて不安を抱いているケースが少なくない。(区、民間) ・相談を受けた者が、個々のケースに合わせて柔軟に対応できていない。(区、民間) ・職員による対応方法や意識の改善を図るとともに、個々のケースにあった柔軟な対応ができるようにしていくことが求められる。(区、民間)
カテゴリー名	社会生活
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活において、手間や時間がかかることや就労との両立の問題など、家族への負担が大きい。(区) ・点字ブロックや音声ガイドの整備や道路、駅等の段差の解消など一層のバリアフリーを推進していくことが求められる。(区、民間) ・就労等、卒業後の将来に対する不安に対処するため、職業訓練の場を提供していくとともに、就労支援を更に推進していく必要がある。(区)
カテゴリー名	サービスの充実
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを利用するための経済的負担が大きいことやサービスを受けるための手続きがわかりにくいことなどの意見が寄せられた。(区) ・タクシー券や送迎、移動介助等について支援が不足している。(区) ・ヘルパー、ボランティアの利用が難しい。(区、民間) ・交流や余暇活動の充実を望む意見が多い。(区、民間) ・サービスの利用手続きの簡略化やニーズにあったサービスの提供が求められる。(区) ・ヘルパーやボランティア人材の確保すると共に、これら人材の資質の向上を図っていく必要がある。(区、民間)
カテゴリー名	施設・機関
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各機関間の連携不足や窓口における親身な対応の欠如、情報の判りづらさなど、利用者の立場にたった対応に不十分な点がみられる。(区、民間) ・特別支援学級のある学校とない学校との支援体制の格差が大きく、格差の縮小が望まれる。(区) ・放課後支援や長期休暇における支援が求められている。(区、民間)
カテゴリー名	連携
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の機関、施設内での連携の不十分さが指摘されたため、これらの連携の強化が求められている。(区、民間)
カテゴリー名	専門性
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な専門職の配置や、専門職の資質の向上に努めていく必要がある。(区、民間)

◎課題抽出

カテゴリー名	情報の提供
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を得る機会や情報を得る場所が少ないため、大半の人が障害児を持つ親同士での情報交換に頼っている。(区) ・ 特別支援学級に関する情報やボランティア探しの方法を得る機会が少ない。(区、民間) ・ 障害を持つ利用者とその保護者の立場に立った、きめ細かな情報提供が必要とされる。(区、民間)
カテゴリー名	相談の充実
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 困ったことがあっても、どこに相談してよいかわからなかったり、相談窓口が少なくなかなか相談できない。(区、民間) ・ ワンストップで対応できる総合相談窓口の創設や、職員の資質や専門性の向上などにより、区民が気軽に安心して相談できる体制作りが求められる。(区、民間) ・ 職員間の連携の強化(区、民間)
カテゴリー名	サービスの充実
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用手続きについて、手続きの煩雑さや窓口開設時間平日に限られるため、サービスの申し込みがなかなかできない。(区) ・ 提供サービスの絶対量が少ない。(区、民間) ・ 子どもの成長を視野に入れた、長期的な制度・政策を希望する。(区) ・ 家族が家事や仕事をするための支援や、本人以外の家族への支援、成長段階ごとの本人の一時預かりサービスの不足(区、民間) ・ 送迎や移動への支援が充実していない。(区、民間) ・ ヘルパーは質、量とも充実していない。(区、民間) ・ 障害児本人の同世代との交流の場が欲しい。(区、民間、地域)
カテゴリー名	施設・機関
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉センター建て替え後の施設では、新たに作業所やグループホーム、就労訓練の場を希望する。(区) ・ 特別支援学級設置校が少なく、学校間の支援体制に格差がある。(区) ・ 放課後支援や学校の長期休暇中の支援充実(区、民間) ・ 就学後の公的な療育機関がとても少ない。(区) ・ 卒業後の進路が限られており本人の意思を尊重することが難しい。(区、民間) ・ 短期入所施設や一時預かり施設の数不足しているし、利用条件が厳しい。(区、民間)
カテゴリー名	
課題	

知的障害者実態調査(通所施設利用者)

◎課題抽出

カテゴリー名	将来のビジョン (夢や心配事など)
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に関しては、積極的な回答 (一般企業などで働きたい) と、その反対に消極的な回答 (職に就くのが難しい、作業所を出て就労を促されることへの危惧) に二分された。就労支援の充実が求められている。(区) ・恋愛や結婚への期待 (出会いの場を求めるものなど) がみられた。(民間、地域) ・親のリタイア後の心配も多く、保護者の老後の自立生活を見据えた支援が求められている。(区) ・先行きの見通しの立ちにくさや地域の偏見や無理解から、現状以外の生活を望まない、望めないという閉塞感が広がっている。(区、地域) ・将来の施設作りについて、「地域の人々に敬遠」されるなど偏見や差別や無理解に関わる問題や、「地域ぐるみの活動がない」「辛さを知っている存在が居ない」などコミュニティの脆弱さに起因する問題が浮き彫りになった。(区、地域)
カテゴリー名	区に期待すること
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生活費やサービス利用に伴う出費への不満がある。(区) ・老人ホームや寮、グループホーム、作業所などの選択肢が十分用意されていない実情がある。(区) ・身近な場所にあることを条件に、新たな施設の設置を求める声が挙げられている。(区) ・緊急時に利用できる施設、入院施設、療育施設なども求められている。(区) ・区の姿勢や障害者への理解をめぐる不満がある。(区) ・情報をもっと提供して欲しい、人事異動が多い、指定管理者制度への不安、専門職員の配置を求める声が挙げられている。(区) ・ガイドヘルパー及びホームヘルパーの改善を求める声がある。(区)
カテゴリー名	その他
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援法の問題点を指摘する意見がみられた。(国)
カテゴリー名	
課題	
カテゴリー名	
課題	

◎課題抽出

カテゴリー名	将来のビジョン (夢や心配事など)
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、家で家族と過ごしたいとするものと、(今のまま)施設にいたい、いて欲しいとする二つの方向性がみられた。前者は「区内に住みたい」「家族と住みたい」という切実な願いがある一方で、「家や地域に居場所がない」ことなどによって入所を余儀なくされているという深刻な声もある。後者は、「いまの施設にずっといたい」といった現在の施設への満足がうかがえる一方、「親が高齢」であることなどにより、入所施設に頼らざるを得ないとする意見もあった。どちらも本質的には「本当は家族と暮らしたい」という共通の願いがある。(区、民間、地域) ・地域生活を望むうえでは、保護者が働けなくなった後の心配や、地域の障害者に対する無理解・認識不足、就労の困難さなどが課題となる。(区、民間、地域) ・「余暇の楽しみ」が欲しいという回答も見られた。(区、民間)
カテゴリー名	区に期待すること
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・費用負担に関する不満を訴える意見が幅広くあるとともに、手当や補助の増額を求める声がある。(区) ・現在利用中の施設には、施設環境の向上や、作業等における本人適性の重視、サービスの質の向上のため職員の待遇改善等が求められている。(区、民間) ・地域の中で暮らしを維持できる施設の設立希望の意見がある。区内施設を作って移りたいというもののほか、処遇面では「24時間体制」「入院にも対応できる施設」「老人ホームやホスピス機能」「個人に合わせて活動できる」ことなどを求める声があった。(区、民間) ・区への対応について評価する反面、人事異動や施策化の進行と利用者の実情との食い違い、区立施設の質の担保など、区の姿勢が問われている。(区) ・「福祉タクシー」の導入などもニーズとして示された。(区)
カテゴリー名	施設の利点と問題点
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所理由として、「親が高齢」、本人に「年齢とともに暴力など」の傾向が見られる、「外出が困難になった」、「区の担当者からの紹介」が挙げられた。家庭内における問題の発見、施設利用のための積極的な支援が必要とされる。(区、民間) ・施設のよい面として、保護者のネットワークができ相談できることが挙げられた。(区、民間) ・施設内での職員と利用者の関係づくりの難しさ、職員の考える援助と本人の意思とのズレが生じていることが指摘されている。原因として、短期間の職員異動の問題、「施設」対「家族」間の連絡の仕組みの問題、入所者と家族とをつなぐ仕組みの欠如、日常の基本的な業務の問題が指摘された。(区、民間)
カテゴリー名	その他
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援法を中心として、国レベルの問題への不満が多く聞かれた。(国) ・金銭負担については「医療費を控除して欲しい」「年金だけでは生活できない」などの声もあり、何らかの支援策を講じる必要がある。(区)
カテゴリー名	
課題	